

令和6年7月10日

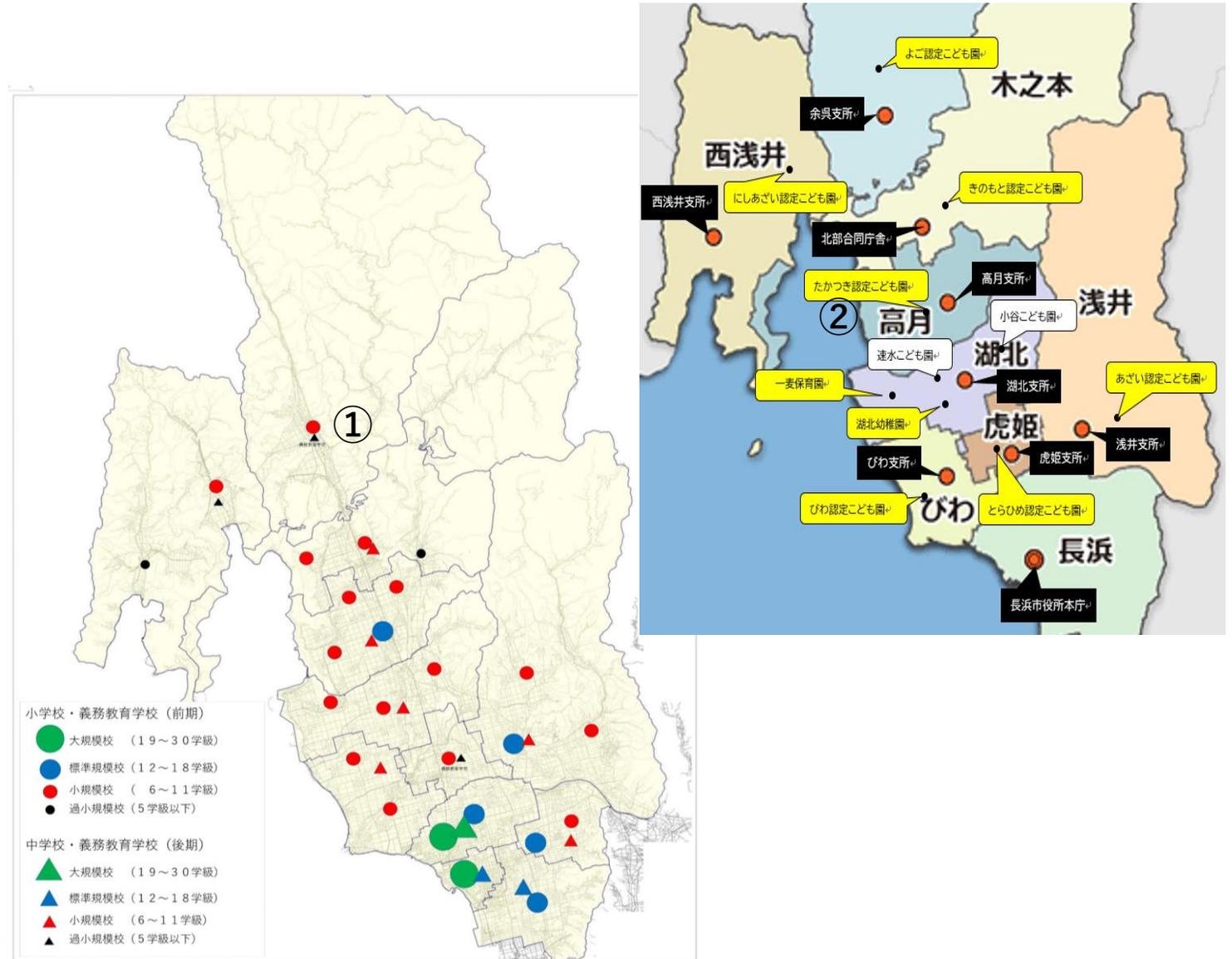
# 第3回学校園の適正規模・適正配置検討委員会

## 学校園の視察資料

# 本日の視察先

①余呉小中学校

②たかつき認定こども園



# ①余呉小中学校

## 児童生徒数・学級数（令和6年5月1日現在）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	特別支援学級	計
児童生徒数	14	15	10	14	16	15	14	16	7	2	123
学級数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10

## 主な教職員配置

校長	教頭	教務主任	学級担任等	養護教諭	事務	計
1	2	1	15	2	2	23

※正規職員、フルタイム職員の数（パートタイム、非常勤勤務の職員を除く）

全景



### 余呉小中学校 児童生徒数の推移

学年	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
1	15	15	15	12	15	14
2	13	15	15	15	11	15
3	16	13	15	16	14	10
4	7	16	13	15	16	14
5	17	7	16	14	15	16
6	11	17	7	16	14	15
7	22	11	17	7	16	14
8	17	22	11	16	7	16
9	21	17	21	11	16	7
計	139	133	130	122	124	121

(各年度5月1日現在)

### 余呉小中学校 児童生徒数の推計

学年	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
1	14	16	7	10	14	5
2	14	14	16	7	10	14
3	15	14	14	16	7	10
4	10	15	14	14	16	7
5	14	10	15	14	14	16
6	16	14	10	15	14	14
7	15	16	14	10	15	14
8	14	15	16	14	10	15
9	16	14	15	16	14	10
計	128	128	121	116	114	105

(令和6年3月末時点自治会別年齢別人口集計表をもとに作成)

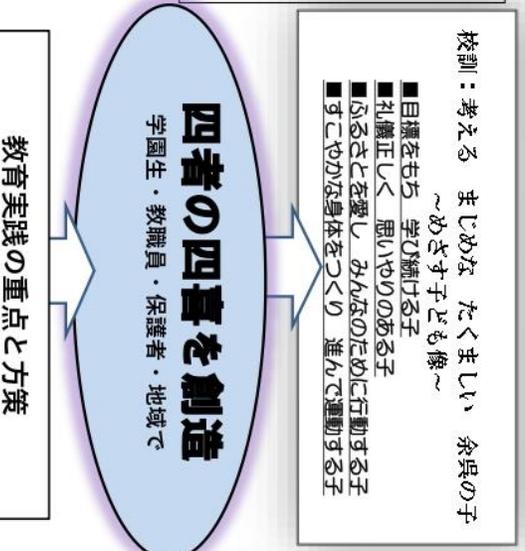
余呉に学び 大きな心で 未来を生きぬく ～しなやかに そして たくましく～

児童生徒の実態

- 素直で頑実、ホラソニア精神が旺盛である。
- 学校の規則を守り、授業や部活動に真面目に取り組める。
- 協調性があり、思いやりをもって人に接することができる。
- 自分の考えや意見を発表することは得意ではないと感じている生徒が多い。
- 固定的な人間関係の中で、多様な価値観や幅広い視野を持ちにくい。
- 身体面で持続力にやや弱さがある。

保護者の願い

- 自主性・主体性をつづかせたい。
- 他人の言動に影響を受けずに、幅広く考える心育てたい。
- 豊かな人間関係を築いてほしい。
- 力強さやゆとりのある子に育てたい。
- ふるさと余呉を大切にさせたい。



長浜市教育行政方針

○子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進する。

○学校・家庭・地域のつなかりを深め、地域全体の教育力の向上を目指す。

○地域の伝統・文化を生かし、郷土を愛する心を育てる。

○市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図る。

○安全・安心で質の高い教育を支える環境を整備する。

地域の願い

○ふるさとに誇りをもち、心豊かにたくましく学び続ける子を育てる義務教育学校の取組の推進。

○地域のつながりを大切にし、多様な視点で子どもを育て、子どもたちが生き生きと育んでほしい。

○多様な交流の場を設定し、実践につながるコミュニケーション能力を高めてほしい。

<p><b>具体的方策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●9年間を貫いた教育課程の構成(個人・丸授業等)</li> <li>●特に場2ステージにおける算数・数学科・社会科・英語科・保健体育科の教育課程の工夫を具体化し研究する。</li> <li>●よこふるさと科を核とした断片的な教育課程の達成を目指す。各学年の異進段階に応じた目標を設定し、実践を積み重ねる。</li> <li>●「長浜スタイル」および「読み解く力」のポイントを踏まえた授業づくりの研究、ICTの効果的な活用「SAIかそり」やノート指導など全教職員による「共通理解」と「共通実践」を推進し、研究を深める。</li> <li>●発達段階を踏まえた「家庭学習」の充実(学習習慣の確立)</li> <li>●特別支援教育の視点に立ったユニバーサルデザインへの授業改善(サポートスタッフ)活用からの授業改善(NAPTRASOURT)活用からの授業改善(共通実践)</li> <li>○学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性の育成</li> <li>○新しい時代を切り拓く力、の育成</li> <li>○道徳を支える人物の育成</li> </ul>	<p><b>具体的方策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●児童生徒が主体的に取り組む、はごろもタイム、めざろりんタイム、わかさぎタイム、6年生研修旅行、校外学習、学園生総会、運動会、文化祭、*縦割りの活動での異年齢交流で豊かな人間関係をつづける。</li> <li>●学園生会を主体にした日増の取組を活性化させる。</li> <li>●「THEAMS」の推進</li> <li>●読書、立腹、笑顔、あいさつ、虫のせり、給食、清掃、学園生集会等SDGsの取組</li> <li>●各ステージでの活動を充実させる。</li> <li>●「考え、議論する」道徳の授業研究を全職員で行う。(学習資料)</li> <li>●授業参観、公開授業の実施</li> <li>●地味教材や「AIチャット」の活用</li> <li>●妻の式、立花式、工藤助朗、福徳体験を核としたキャリア教育を推進する。</li> </ul>	<p><b>具体的方策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●早速・早起き・朝ご飯・朝うんちの生活習慣を浸透させる。</li> <li>●わかさぎタイム、運動会やワゴン大会、保健体育科の授業を利用した体力の向上</li> <li>●健全な心と身体を培う、生活指針を基盤とした部活動の充実を図る。</li> <li>●協働性、責任感、連帯感の育成</li> <li>●通称「お練習時間、休養日」の設定</li> <li>●喫煙・薬物乱用防止教育、かん教育の推進を図る。</li> <li>●地産地消と感謝の心を育む給食指導。</li> <li>●アトピー一歩会等、保健管理の充実を図るとともに、教職員の研修会を定例化して取り組む。</li> <li>●感染症に対する正しい知識と危機感をもち、その対策を徹底できるように全教職員で指導する。</li> </ul>	<p><b>具体的方策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「よこふるさと科」プロジェクトの中間発表および(全国サミットでの発表生を行い)、地域全国に発信するとともに地域貢献活動にまで高めたい。</li> <li>●資源ポラリア活動の実施</li> <li>●学園生会、運動会、文化祭</li> <li>●「はごろもフェスティバル」を学校と地域の協働で実施する。</li> <li>●学校運営協議会(年5回)の活動の充実と園川中協議会との連携</li> <li>●学園生・職員・保護者とのよこトークを実施する。</li> <li>●学校防犯教育の充実・避難訓練の実施(年3回)</li> <li>●上丹生茶碗祭り保存会、下余呉本館跡の保存会等関係機関との連携</li> <li>●義務教育学校小規模校との交流</li> </ul>
<p><b>知</b> 確かな学力</p> <p>子どもたちが「がんばり」「できたら」「がんばろう」喜びを覚えるも授業(*授業力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的・基本的学習内容の到達確認</li> <li>○主体的・対話的で深い学びの視点、ICT活用からの授業改善(NAPTRASOURT)</li> <li>○学習からの授業改善(共通実践)</li> <li>○学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性の育成</li> <li>○新しい時代を切り拓く力、の育成</li> <li>○道徳を支える人物の育成</li> </ul>	<p><b>徳</b> 豊かな心</p> <p>「自立と共生」に向けた、主体性・社会性の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○話し合いと実践から生かせるステージ</li> <li>○学習経験者の授業</li> <li>○人格の養成としての道徳性の育成</li> <li>○考え、議論する力の養成</li> <li>○体験活動を通して(運動、本物、中間を養成する</li> <li>○互いの人権を尊重する態度の育成</li> </ul>	<p><b>体</b> 健やかな体</p> <p>早速・早起き・朝ご飯・朝うんち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○運動をUI生活習慣の確立と心身の健康の自己管理能力の育成</li> <li>○感染症対策の徹底</li> <li>○体力向上と健康の保持増進</li> <li>○保健体育科の授業の充実</li> <li>○運動習慣の確立</li> <li>○体力の向上</li> <li>○運動的活動の適切な運営と指導</li> </ul>	<p><b>共生</b> 自然や地域と共生する力</p> <p>地域環境を活用した</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●特色ある教育の推進</li> <li>○よこふるさと科における、余呉の自然や伝統・文化を生かした教育活動を推進し、地域に貢献する。</li> <li>○地域の人のための交流を促進し、地域に貢献できる児童生徒を育成する。</li> <li>○全園義務教育学校との交流(切遊環境)もある仲間づくり)</li> </ul>

学習の基盤となる資質・能力 (言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等)

～子どもに寄り添い、その可能性を引き出し、伸ばす教職員～

**めざす教師像\***

創造自主の精神と愛の心の誠ある教師

- 自ら子どもとともに学び、共に学び続ける教師
- 女性に人権尊重を働き、子ども理解に努める教師
- 女子のためにという思いを共有し、協働できる教師
- 余呉の地を自ら歩き、地域を知り、教材化できる教師
- 良縁ある社会人として、社会に貢献する教師

**教職員の素養向上に向けた具体的な方策**

- 初任者、2・3年次、中堅教師等研修
- 有成長を目指す資質・能力の明確化
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
- 「学SVC向上学校取組」
- 「全国学力・学習状況調査」の分析、フィードバック
- ステージでのOJT研修(授業改善をむむ)、学園生を育てる会
- 校内研究でのワークショップ(実践と実行)
- 自己研鑽(教育書等幅広い読書活動)

**教職員の働き方改革**

- 超運動量意識を醸成した業務遂行、統合型校務支援システムの効果的な活用、チーム「ステージ」での役割分担
- 部活動：時間短縮型など、土日原則1日は部活動なし、平日1日は部活動あり
- 行事の精選、会議の効率化

**「チーム余呉」による組織的対応の充実**

## ②たかつき認定こども園

園児数・学級数（令和6年5月1日現在）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
長時部 園児数	5	20	33	46	46	49	199
短時部 園児数	-	-	-	24	24	17	65
クラス数	1	2	2	4	3	5	17

主な職員配置

園長	副園長	保育者	調理師等	計
1	2	41	1	45

※正規職員、フルタイム職員の人数（パートタイム、非常勤勤務の職員を除く）

全景



### たかつき認定こども園【長時部】の園児数の推移

クラス	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
0歳児	3	2	3	4	7	5
1歳児	25	28	20	20	22	20
2歳児	29	35	36	29	34	33
3歳児	43	41	39	40	40	46
4歳児	63	50	42	43	44	46
5歳児	62	70	49	45	49	49
計	225	226	189	181	196	199

(各年度5月1日現在)

### たかつき認定こども園【短時部】の園児数の推移

クラス	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
3歳児	36	34	31	27	28	24
4歳児	33	32	33	30	23	24
5歳児	36	27	34	31	25	17
計	105	93	98	88	76	65

(各年度5月1日現在)

### 第2期長浜市子ども・子育て支援事業計画における提供量

分類		R2	R3	R4	R5	R6
		実績値	実績値	見込値	推計値	推計値
教育事業	1号	871	850	850	800	750
	2号	2,003	1,931	1,895	1,880	1,855
保育事業	3号(0歳児)	271	264	264	261	251
	3号(1,2歳児)	987	966	966	925	905
計		4,132	4,011	3,975	3,866	3,761

※令和7年度から5年間については、第3期子ども子育て支援事業計画の策定に向け、ニーズ調査や人口推計を踏まえ推計中



1号	1号認定	満3歳以上の小学校入学前の子どもで、2号認定の子ども以外
2号	2号認定	満3歳以上の小学校入学前の子どもで、保護者の労働または疾病その他の事由により、家庭において必要な保育を十分に受けることができない子ども
3号	3号認定	満3歳未満の子どもで、保護者の労働または疾病その他の事由により、家庭において必要な保育を十分に受けることができない子ども

1. 令和6年度

たかつき認定こども園経営管理全体計画（構想）

**本園の実態と課題**  
 (子どもの実態)  
 ・明るく、素直で、保育者に親しみを持っていて関わりが多い。  
 ・自分から遊びが見つけにくい子、経験がないことには消極的で活動への意欲や挑戦意識が低い子が多い。  
 ・家庭での遊びはゲームなど受け身的なものが多く、集団で遊ぶ機会は少なく、体を動かす機会は減っている。  
 ・就労率が高く、長時間が増加し、早延長にかかる園児が増えている。  
 (保護者・地域の実態)  
 ・新興住宅地の造成が進み、核家族が増え、子育てに不安や悩みを抱えている保護者もいる。  
 ・こども園の活動に主任児童委員や更生保護女性会など地域の方の支援協力体制がある。  
 ・高月中学校区の連携による教育生活指導のつながりがある。

保育教育目標  
**心身ともに明るく健やかで心豊かな子どもの育成**

市教育前教育カリキュラム  
 (かかわりの力、まなびの力、  
 子育ての力、  
 子育ての力、  
 子育ての力)

【めざす子ども像】  
 ◆自分の思いをのびのびと表現する子ども  
 ◆自分で考えてやり遂げようとする子ども  
 ◆思いやりの心を持ち、友だちとなかよく遊ぶ子ども  
 ◆すすんで体を動かし楽しくあそぶ子ども

【目指す保育像】  
 ・愛情と情熱を持ち、子どもの個性を伸ばす熱意ある保育者  
 ・子ども一人一人の理解に努め、子どもから学ぶ保育者  
 ・心身ともに明るく健康的で心豊かな保育者  
 ・子どもが主体性をもって取り組める環境作りができる保育者  
 ・組織の一員として共に磨き合う保育者

【今年度の重点目標】  
 『主体的に心や体を動かして遊ぶ子を育てるために』  
 ～戸外の環境を活かし、自ら進んで遊びたくなる環境や援助のあり方を探り、学び合う～

【年齢別重点目標】

【安心・安全な園づくり】  
 ・子ども一人一人の安全確保を第一に考え、園の安全管理・危機管理をマニュアルを把握し活用する。  
 ・園舎内外の定期的な点検、危機管理について研修や訓練を実施し、危機管理意識の高揚に努める。(課題訓練、不審者対応訓練の実施等)  
 ・バスの運行の安全管理の徹底

0歳児 ・一人一人の子どもへの生活リズムを大切にしながら食事、睡眠、排泄などの生理的欲求を満たす。 ・保育者とかかわりを通して情緒の安定を図り人や物との関わりを育み広げていく。 ・一人一人の発達にあった遊びを楽しむ。	1歳児 ・安心できる保育者との関係のもとで様々な欲求や甘えを満たし情緒豊かに安定して過ごす。 ・身の回りや好奇心への関心や好奇心を大切に受け止めながら、探求心が満たされるようにしていく。 ・全身を使った遊び、手指を使う遊びを楽しむ。	2歳児 ・保育者と一緒に、食事、排泄、衣服の着脱などをしようとする。 ・言葉が豊かになり自分の思いや欲求などを言葉やしぐさで伝えようとする。 ・歩く、段を登るなど全身や手指を使った遊びを楽しむ。	3歳児 ・簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・保育者と友だちと親しみ、一緒に遊ぶことを楽しみながらひとのかかわりを広げていく。 ・自分の思いや感じ、体を動かし、自然とふれあって遊びの楽しさを味わう。	4歳児 ・生活に必要な身の回りのことを自分でする。 ・人の話を聞いたり、経験したことや感じたことを伝えあう喜びを感じたりする。 ・気の合う友だちと体を動かし遊ぶ。 ・生活経験を通して友だちや異年齢とのかかわりを広げる。	5歳児 ・健康、安全な生活に必要な基本的な生活習慣や態度を見につける。 ・友だちや異年齢とのかかわりの中で、相手を思いやる心を育て、協力する態度を身に付ける。 ・友だちの思いを受け入れながら自分の思いや考えを伝える。
---	---	--	---	---	---

具体的 な 実 践 事 例  
 幼児期の終わりまでに育ってほしい10  
 の姿を見据えて

人とかかわる力を育む 保育の実践	健やかな心と体を育む 保育の推進	地域や自然を活かした 保育の実践	個に応じた指導と援助の 推進
保育業による伝え合う力の育成 ・年齢に合った遊びの充実(ごっこ遊び・わらべうた遊び・集団遊びなど) ・絵本や紙芝居など読み聞かせの継続 ・親子読書の推進 週一の絵本貸し出し 『おうちで読書』の実施 (園小中の連携) ・園小交流『秋まつり交流』(中学生職場体験) ・地域ボランティアとの交流 ☆自尊感情を育む保育実践 ・一人一人の良さを認め合う	☆基本的な生活習慣の習得 ・挨拶、返事をする ・手洗い、排泄、身の回り始末 ・「元気の合い言葉」 『早寝・早起き・朝ご飯』 ☆運動遊びの実践推進 ・のびのびクイズの定着(体操、フラインク) ・運動あそびプログラム ☆園庭環境の工夫 ☆自ら遊びたくなる環境作り ☆食育活動 ・食育を充実させ健康的な体づくりをする ・食育指導(栄養士、調理師との連携)	☆地域性を活かした体験 (園外保育ワークショップ) ・園外での芋掘り、焼き芋体験 ・啓発運動への参加 『ジュニアポリス』 ・更生保護女性部・児童民生委員の方の挨拶運動、夏祭りの手伝い ☆創育活動の継続 ・創育当番活動 ☆四手を通し、屋内外の自然との直接体験 ・園庭の緑化活動 (草花などで遊べる環境作り)	☆特別支援教育の推進 ・課題の理解と支援体制の確立 ・関係機関との連携 ・一人一人を活かす学級経営 ・園内支援研修会の計画実施 ☆子育て支援体制の充実 ・相談員や保育者による子育て相談や情報提供の実施 ・未就園児広場(たかつきっこ)年5回の計画実施 ☆職員の資質向上 ・職員研修(保育に役立つ実践研修) ・園内研究(主体性のある子を育む保育を全員で学ぶ)